

大阪TOWN 元気じるし!

女性パワーで、大阪に活力を一。こんな元気いっばいの夢を掲げて、エネルギーに挑戦し続けている女性経営者らがいる。「元気人間製造研究所」代表で、こめ太郎副社長の森重子さん(60)＝堺市北区南花田＝、システム開発などを手掛けるディプロム社長の貴島清美さん(46)＝大阪

市中央区南船場2丁目＝らは、それぞれの持ち味を生かしてリーダーシップを発揮。2人とも「人間大好き」と語り、「人」をキーワードにしたビジネス展開で、世界的な経済不況が深刻化する中であって、着実に飛躍を続けている。その2人を紹介する。(猪口隆)

コンピューター軸に多角化成功 貴島 清美さん

「一人の女性として、可能性に挑戦し続けたい」。こう語る貴島さんは、旺盛なチャレンジャー精神をバネに、新規事業を切り開いてきた。IT事業を軸にWEB制作、フォトスタジオ運営、人材派遣業などを展開。「お客に喜んでいただき、地域社会の発展に貢献できるように、未来社会のビジネスを多角化していく大きな力でありたい」と夢を語る。

父の背中
両親は二十歳で結婚。その長女として「自らベンチャー企業を立ち上げた父の背中を見ながら、自立していくための経営者のな

エネルギーギッシュに活躍

女性経営者を紹介



「可能性に挑戦し続けたい」と語る貴島さん

「これからはコンピューターの時代」と大学卒業後、大手の情報処理会社に就職。スキルの高さが認められ、入社一年目で班長になり、二十五歳の時には保長へ。クライアント

先の部署四十人余りを指導するなど、女性幹部として、大きな期待がかけられた。しかし、母が病気のなかで、一家環境などが変わっても、自分がかかれないことを武器に働けるようになり、会社立ち上げ

「クライアント先の経営環境により、一千万規模の赤字が続いたことがありました。しかし、写真のデジタル処理技術を生かした新規事業の成果などもあり、経営を再建。フォトスタジオの運営はオトスタジオの運営は事業の柱の一つに育っています。人のつながりを大切に、今後も事業展開していきたい」と語る。

人脈づくりに力
大阪府中小企業家同友会女性部のメンバーとしても奮闘しており、「女性が伸び伸びと働けるような職場づくりのため、仲間と力を合わせていきたい。悩みや問題を抱えている人たちの手助けができればと目を輝かす。また、人脈づくりに力を入れており、先月、「ソーシャル・アントレプレナー・ネットワーク」を大学講師や専門家らと発足させた。「国際的な人的ネットワークをつくり、あらゆる情報を共有。地域の発展だけでなく、地域社会や経済発展に役立つ新しいビジネスの構築なども考えていきたいと話している。

常に挑戦し続ける

「余命三カ月」と医師から宣告され、貴島さんは看病のため退社に働けるようになり、その後、大学と専攻を目標としている。

職。貴島さんの必死の願いもむなしく、亡くなったショックを寂しさの中で、「家庭環境などが変わっても、自分がかかれないことを武器に働けるようになり、会社立ち上げ

「可能に挑戦し続けたい」と語る貴島さん